



宮崎県総合防災訓練に参加しました。

10月14日、えびのを震源とするM6.5の地震が発生し、西諸地区において震度6強を観測し、多数傷病者が発生している想定で訓練が行われました。

今年度の宮崎県総合防災訓練は、救助・救急・消防活動訓練や物資調達訓練、燃料供給訓練や関係機関による応急対応訓練など107機関が参加し、小林市・えびの市・高原町で実施されました。

当院では、災害時医療活動訓練を実施し、小林市DMAT活動拠点本部を設置。また、救助・救急・消防活動訓練を実施したえびの市の水辺の楽校に救護所を設置し、県内の被災地外から参集した支援DMATと協力して多数傷病者を受け入れるための訓練を実施しました。



▲ 現場指揮所



▲ 傷病者受け入れ

当院訓練の参加機関

- ・ 県立宮崎病院・県立日南病院・県立延岡病院
- ・ 宮崎県医療薬務課・都城市郡医師会病院
- ・ 日本赤十字血液センター・京町共立病院
- ・ 小林看護医療専門学校(ボランティア)・九州電力

災害訓練感想

今回、10月14日に初めて災害訓練にDMAT(業務調整委員)として参加させていただきました。昨今、地震だけではなく様々な災害が起きています。災害の際には被害を最小限に食い止められる様、常日頃より準備、訓練を行うことが大切だと思いました。今後も継続して、様々な災害に備え、準備や訓練を行っていきたいと思います。



小林市立病院
リハビリ室 三角園 祐司



▲ 作業中の様子

